

熊本県総合射撃場 業務報告書

(令和6年8月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ

令和6年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～3
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	自主事業状況	4
	1 KSPA・MIZUNO スポーツプログラム	
	2 施設の機能を活用した取組	
IV	維持管理状況	5～8
	1 施設・設備の維持管理	
	2 施設の衛生管理	
	3 安全管理及び体制	
	4 環境に留意した管理運営	
V	管理運営体制	9
	1 運営組織、人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	9～10
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 火災、地震災害時の対策・対応	
	3 気象災害時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県の射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、また公益性を担保し「県全域のスポーツ振興と県民の健康増進」に貢献することを管理運営の最優先事項として取り組みます。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

8月	利用者数		施設利用料	
	今年度	前年度	今年度	前年度
熊本県総合射撃場	1,002人	689人	1,388,475円	1,560,855円
累 計	3,764人	4,119人	9,571,430円	9,208,720円

※詳細は別添資料のとおり

※前年度との比較

前年度には開催されなかったライフル射撃大会の開催が、今年度は1件開催された事から、利用者数は増となった。施設利用料については、前年度に開催されたクレー射撃大会が今年度は開催されなかった事、また台風10号接近により2日間施設を臨時休場した事から、施設利用料は減となった。



(2) 使用料の減免

[個人利用]

利用場所	利用人数
クレー射撃場	25人
ライフル射撃場（スモールボア射場）	1人
ライフル射撃場（ビームライフル射場）	28人

(3) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

8月は、利用者からの苦情、要望等はありませんでした。

2 利用者の増加を図るための具体的な取組

(1) 利用者への情報提供

各情報は、ホームページ・SNS・パンフレット・リーフレットにより提供しています。

(2) 利用拡大のための取組内容

① 利用機会の拡大

大会名	供用日及び時間変更日時	使用施設
ビームライフルクラブ	7日（水） 17:30 ～ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	14日（水） 17:30 ～ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	21日（水） 17:30 ～ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	28日（水） 17:30 ～ 19:30	ライフル棟

② クレー射撃場

公式戦よりも射撃位置が前にある「トラップフィールド」を導入し、初心者でも楽しめるように設定しています。

③ 利用者優待制度

スタンプカードや事前予約メリット性など優待制度を行っています。

(3) 地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

8月は、地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働はありませんでした。

3 サービス向上を図るための具体的な取組

(1)利用者主体のサービス提供

大会名	実施内容	開催日
国体九州ブロック兼九州ライフル選手権大会	AR射場の照度設定及びターゲットホルダーの調整、BR射場の照度設定及び動作点検、SB標的の昇降	17・18日

(2)利便性の向上

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・雨傘の無料貸出 ・休憩用ベンチの設置 ・コピーFAX サービス など

(3)その他の取り組み

① 地域への貢献

実施日	場 所	内 容
23・26日	公道	除草作業

Ⅲ 自主事業状況

1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

(1) スポーツ教室

① 通年型

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	10:00～11:00	25日	7名
ビームライフルクラブ	17:30～19:30	7・14・21・28日	11名

② KSPA・MIZUNO カップ

行 事 名	実 施 日	参加者数
KSPA・MIZUNOカップ第17回ビームライフル大会	24日	23名

2 県全域へのスポーツ振興

8月は、県全域へのスポーツ振興はありませんでした。

3 施設の機能を活用した取組

(1) クレー射撃

① トラップフィールド競技の導入

8月は、トラップフィールドの利用はありませんでした。

(2) ライフル射撃

① 教習射撃の実施

行 事 名	実 施 日	参加者
ライフル教習射撃	9日	1名

(3) 会議室・研修室

① 会議室・研修室の多目的活用(クレーシューティングシミュレーターの導入)

行 事 名	実 施 日	参加者
クレーシューティングシミュレーター	10～17・21・23～25日	42名

IV 維持管理状況

1 施設・設備の維持管理

(1) 保守管理計画

[職員による日常点検一覧]

業 務 名	業務内容	実施日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時
射撃機器装置点検	動作確認、機能・通電点検整備	随時

[委託による保守点検一覧(定期)]

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
自家用電気工作物保安全管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
自家用電気工作物保安全管理	受電設備及び分電設備点検	隔月	15日
			異常無
消防設備点検	消火栓・火災報知機他、動作・機能点検	年2回	20日
			異常無
建築物法定点検	建築物の損傷、腐食、その他の劣化状況点検・図面整備	R3、R6	7日
			異常無
建築設備法定点検	建築物の損傷、腐食、その他の劣化状況点検	年1回	7日
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の保守点検	毎月	28日
			異常無

[委託による保守点検一覧(臨時)]

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
浄化槽保守点検	浄化槽ポンプ異常警報発生に係る臨時点検	1回	26日
			異常有

(2)修繕・改修

[自主修繕等一覧]

実施内容	場 所	実施日
ビームライフルターゲット電球交換	ビームライフル射場	23日

[業者修繕等一覧]

8月は、業者修繕等はありませんでした。

(3)外構や植栽の維持管理

[業者委託]

8月は、業者委託はありませんでした。

[職員作業]

場 所	実施内容	実施日
モニュメント、ゲート正面、駐車場裏、フェンス沿い、受水槽周辺、公道法面、AR射場外周、SB射場内、奥平地、スキートAB、トラップAB、駐車場奥	除草、剪定	1・2・7・8・11・ 14・15・21・23・ 26・27日
クレー射場平地、奥平地	クレー・鉛回収、泥上げ、落葉回収	6・20日
SB射場平地	人工芝張り	16・21日

2 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[職員等による特別清掃内容]

場 所	実施内容	実施日
各選手控室	消臭剤補充	3日
研修室、和室、管理棟、多 目的トイレ、会議室	清掃	3・8・21・22日
管理倉庫	整理整頓	21日
射場内各トイレ	ハンドソープ、洗剤補充	22日
ライフル棟	清掃	23日
トラップA	マガジン清掃	28日

3 安全管理及び体制

(1) 保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24 時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応]

8 月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分		業務内容	実施予定時期
職員実施		施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	8:30～9:00 日中は随時 17:30～18:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時	随時対応

(2) 環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実 施 日
鉛回収、分別作業(職員により実施)	別添資料 2 参照
調整池清掃・汚泥回収	別添資料 3 参照
水質検査(採水日)	なし

4 環境に留意した管理運営

「SDGs」の目標達成に向けた取り組みのひとつとして、環境省の認証制度であるエコアクション 21 の方針に準じ「省エネ・省資源」「ゴミの減量化」「リサイクル」「グリーン購入」等、環境に配慮した取り組みを推進します。

取り組み	内容
環境啓発活動	地域公道のゴミ拾い
省エネ・省資源への取り組み	LED や節水コマの取付など、節電・節水に努める
リサイクル・リユース活動	回収した鉛や薬きょうを活用したストラップ等作成、販売

※(一財)熊本県スポーツ振興事業団は「第 1 期熊本県SDGs登録事業者」です。

V 管理運営体制

1 運営組織、人員配置

射撃場長(統括責任者)のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。

利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口(4~9月)	9:00~18:00	8:30~18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口(10~3月)	9:00~17:00	8:30~17:30	施設点検・供用準備を含む

2 職員研修

(1) 一般研修・階層別研修・専門研修・資格取得研修・他施設への派遣研修

8月は、職員研修はありませんでした。

VI 緊急時対策体制

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[事故等に伴う職員の出勤]

8月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[常備機器・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区分	内容	対応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1~31日
地震	8月8日16時43分に、宮崎地方で震度6の地震発生(益城町、震度3)	被害状況の確認 異常なし	8日

3 気象災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
台風	台風10号接近に伴う対策及び通過後の被害確認	被害の恐れのある備品撤収、建物・設備・施設被害確認点検、利用者への連絡等	26～30日
台風	台風10号接近に伴う対策	臨時休場	29・30日

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症測定器で計測し、利用者に情報を提供	定期計測 利用者へ熱中症予防呼び掛け	1～31日
熱中症	熱中症注意喚起ポスター掲示	ポスター掲示による利用者への注意喚起	1～31日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水を備蓄しています。

[危機管理マニュアル]

<ul style="list-style-type: none"> ・台風、豪雨対応 ・施設の爆破、占拠等対応 ・光化学スモッグ対応 ・新型インフルエンザ対応行動計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震災害対策 ・人的災害対応 ・落雷事故対応 ・熱中症予防対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・微小粒子状物質(PM2.5)対策 ・新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル
--	--	--

5 保険加入による補償体制

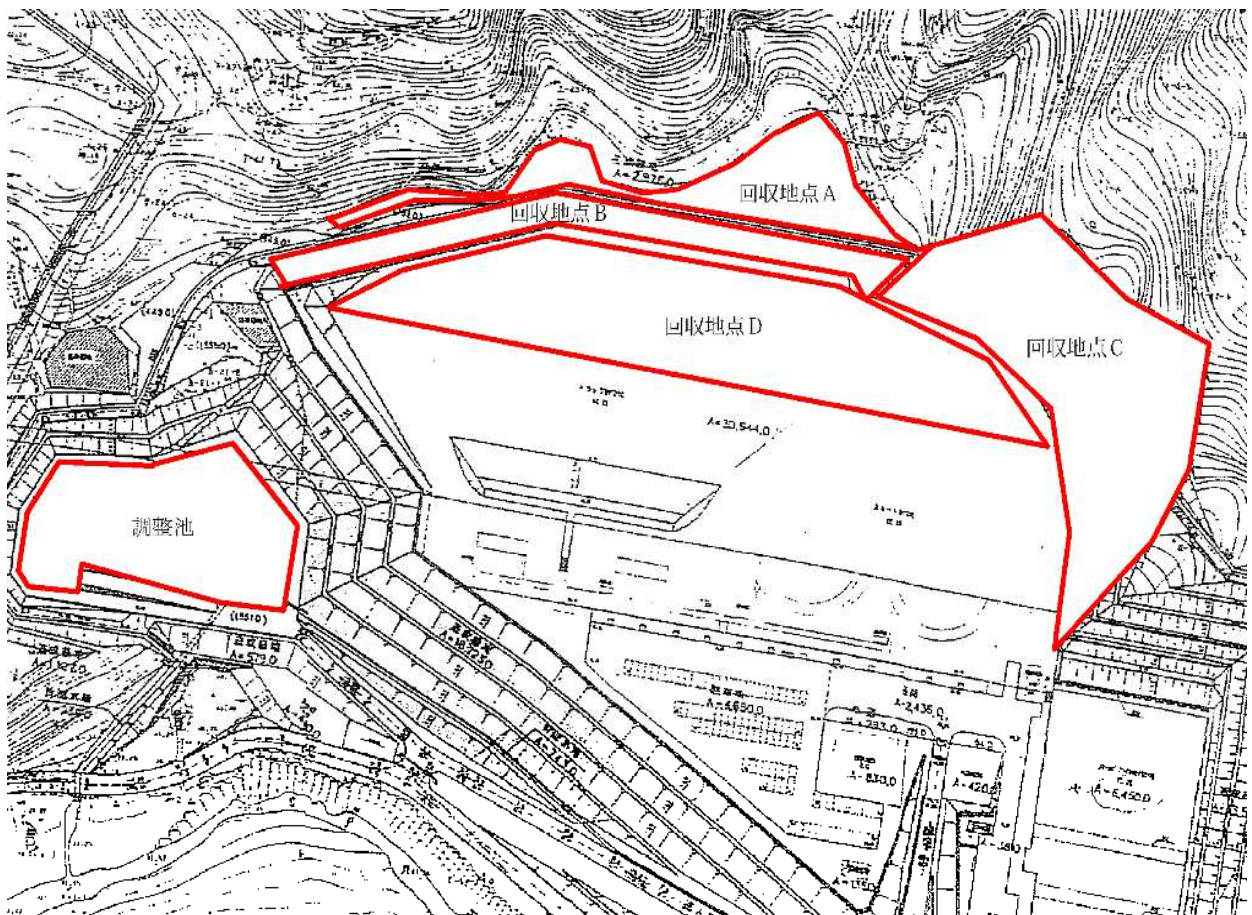
[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本スポーツ施設協会)	[施設賠償責任保険] 対人賠償:1 事故につき5億円(1名につき3億円) 対物賠償:1 事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者補償保険 (Chubb 損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円
個人情報漏えい保険 (東京海上日動火災保険株式会社)	賠償:1 請求につき5,000万円 対応費用:1 事故または1請求につき2,000万円

実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
1日(木)	10kg							鉛分別作業
6日(火)	200kg	150kg	○	○	○	○		射撃場以外の施設から職員を動員
7日(水)	10kg							鉛分別作業
20日(火)	300kg	150kg	○	○	○	○		射撃場以外の施設から職員を動員
21日(水)	20kg							鉛分別作業
22日(木)	140kg							鉛分別作業
合 計	680kg	300kg	2	2	2	2	0kg	
累 計	4,050kg	1,500kg	10	10	10	10	0kg	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	22,000枚	0.024kg	約528.0kg	約4,167.5kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収及び鉛分別作業実績一覧表

資料3

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	鉛回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
3日	水	3人	倉庫横	110kg				
8日	月	2人	倉庫横	5kg				
9日	火	6人	全面回収	55kg	150kg			
11日	木	2人	倉庫横	10kg				
15日	月	3人	倉庫横	130kg				
19日	金	1人	倉庫横	40kg				
22日	月	5人	倉庫横	250kg				
23日	火	7人	全面回収	50kg	150kg			
24日	水	2人	倉庫横	10kg				
25日	木	1人	倉庫横	10kg				
26日	金	1人	倉庫横	10kg				
27日	土	1人	倉庫横	10kg				
29日	月	3人	倉庫横	80kg				
4月回収量合計(37人)				770kg	300kg	0kg	0回	33,338枚×0.024kg=800kg
1日	水	2人	倉庫横	130kg				
6日	月	2人	倉庫横	30kg				
7日	火	10人	全面回収	450kg	150kg			
21日	火	10人	全面回収	450kg	150kg			
5月回収量合計(24人)				1,060kg	300kg	0kg	0回	42,061枚×0.024kg=1,009kg
4日	火	10人	全面回収	40kg	150kg			
5日	水	1人	倉庫横	70kg				
6日	金	1人	倉庫横	30kg				
18日	火	9人	全面回収	300kg	150kg			
20日	木	2人	倉庫横	85kg				
24日	月	3人	倉庫横	100kg				
27日	木	2人	倉庫横	150kg				
28日	金	4人	倉庫横	170kg				
6月回収量合計(32人)				945kg	300kg	0kg	0回	43,177枚×0.024kg=1,036kg
1日	月	3人	倉庫横	40kg				
3日	水	3人	倉庫横	10kg				
4日	木	3人	倉庫横	15kg				
9日	火	6人	全面回収	200kg	150kg			
19日	金	2人	倉庫横	30kg				
23日	火	8人	全面回収	300kg	150kg			
7月回収量合計(25人)				595kg	300kg	0kg	0回	33,069枚×0.024kg=794kg
1日	木	2人	倉庫横	10kg				
6日	火	7人	全面回収	200kg	150kg			
7日	水	1人	倉庫横	10kg				
20日	火	10人	全面回収	300kg	150kg			
21日	水	1人	倉庫横	20kg				
22日	木	2人	倉庫横	140kg				
8月回収量合計(23人)				680kg	300kg	0kg	0回	22,000枚×0.024kg=528kg
合計(延人数 141名)				4,050kg	1,500kg	0kg	0回	173,770枚×0.024kg=4,170kg(累計)
回収量/鉛散乱量 = 4,050kg/4,167kg = 97%(鉛回収率※)								
* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。								